

2019年8月5～8日；四日市東日本大震災支援の会 第68回派遣 三重県教委との連携「学校防災ボランティア事業」 活動報告

2019年11月14日

四日市東日本大震災支援の会 代表 鬼頭浩文(四日市大学教員)

三重県教育委員会主催の「学校防災ボランティア事業」は、支援の会の大学生が三重県内の中高生37人の活動をコーディネートして東北に出かけ、ボランティアをしながら地域防災を学ぶプロジェクトです。支援の会が8年の活動で構築してきた宮城・福島とのネットワークを生かした活動です。現地で災害公営住宅の集会所に3泊し、震災遺構の視察、語り部の講話、下要請職員や社協職員による防災対応の解説などを通し、中高生が地域防災に貢献できる人材に育つ機会になりました。なお、今回は、兵庫県内の中高生と1日合同の活動となった。

★大学生・教員サポーター参加費

参加費：7,000円 参加者：四日市大学学生7名・教員1名

*参加費のうち、1人5,500円を食費代・入浴代などとして県教委に支払った。

・四日市ー東北の往復移動、現地での移動は、県教委が負担した。

・7日の朝食・昼食・夕食、8日の朝食、入浴1回などが参加費の内訳である。

<スケジュール概要>

★8月5日(月)

0815：四日市大学に集合

0900：四日市大学出発(途中サービスエリアでの昼食・夕食は自己負担)

2000：宮城到着⇒元気の湯で入浴⇒あおい集会所で宿泊

★8月6日(火) 兵庫県と協働

0600：起床、朝食は炊き出し訓練

0800：青い鯉のぼりプロジェクト講話

1100：流しそうめん交流会

1300：石巻西高校で視察&斎藤幸男氏によるワークショップ

1730：BBQ交流会

1900：あおい地区会長の小野竹一氏による防災講話

2230：就寝

★8月7日(水)

0630：起床

0900：大川小学校視察&語り部講話

1230：野蒜地区で大学生による防災講話

1430：行政の対応について東松島市職員による講話

1530：社協職員による講話

1630：自由行動(入浴と土産購入)

2000：振り返り学習⇒就寝

★8月8日(木)

0430：起床⇒すぐ出発し、春日SAで洗顔、朝食配布

0800：福島県富岡町で語り部講話

0930：福島出発(途中サービスエリアでの昼食は自己負担)

1800：四日市大学帰着⇒片付け⇒解散

